

## 4/18 子ども獅子舞の壁画を描く

これまで公民館で練習に励んできた兼箇段獅子舞保存会の子ども獅子舞のメンバーが、新しい練習拠点となる兼箇段本部落集会所に獅子舞の絵を描きました。



壁画を描いた1人、仲嶺真奈美さん(前高3年)は、「壁画を描くことで、伝統ある兼箇段獅子舞の存在をアピールできれば」と思いを話しました。

## 4/22 こいのぼり掲揚式

5月5日の「こどもの日」を前に、市役所本庁でこいのぼり掲揚式が行われました。市内の8園の保育園児が参加し、「こいのぼり」の曲に合わせて、空高くこいのぼりを掲げました。掲揚後、全員でダンスを踊り楽しい掲揚式になりました。



## 5/7 赤十字奉仕団社資募集出発式

「命を救う、力を合わせよう。」をテーマに5月1日から31日まで行われる全国一斉社資募集運動に合わせて、うるま市でも出発式が行われました。式終了後、奉仕団は3つのコースに分かれ、企業などを訪問し協力を呼び掛けました。



## 5/12 「民生委員・児童委員の日」活動強化週間出発式

5月12日から18日は、全国一斉に行われる「民生委員・児童委員の日」活動強化週間が展開されることから、民生委員や児童委員の役割、活動内容を市民に広く知ってもらおうと、市役所正面玄関前で出発式が行われ、式終了後街頭PR活動が実施されました。



## 第2次うるま市行政改革大綱を策定

行革委員会が大綱(原案)を妥当と認める



3月29日、市役所において行政改革推進委員会の照屋寛之会長が島袋市長に第2次うるま市行政改革大綱に関する答申書を手渡しました。

市では行政改革大綱に続く第2次行政改革大綱(素案)を作成し、12月から1月にかけて市民意見の募集を実施しました。市民から寄せられた意見をふまえて大綱(原案)をまとめ、委員会に諮問。慎重な審議が重ねられ、大綱(原案)が妥当であると認められました。これを受けて、3月末同大綱を策定しました。

会長は「大綱に掲げた市民の視点・パートナーシップ(協働)・行政経営の視点の3つの視点に立ち、行政改革をしっかりと進めていただきたい。」と提言しました。

## 4 地区地域審議会から答申

地域の声を行政に反映



地域の声を行政運営に活かすために4地区ごとに設置された地域審議会から平成21年度の新市建設計画執行状況について、3月26日、4地区の会長からそれぞれ答申がありました。

答申書の中には、それぞれの地区の意見や要望を付しており、答申を受けた島袋市長は、「これまでの協力に対する感謝と答申された内容を行政運営に反映していきたい」と述べました。